

幼児教育研修（年齢別担任研修1歳児 第1回）

受講者数 105名

日時 令和4年6月22日（水） 15:00～17:00

場所 竹の塚地域学習センター

講師 東京未来大学 非常勤講師 小野崎 佳代 氏

【内 容】～子どもの発達と保育者の関わりについて～

アタッチメントの形成は、安心感につながります。特定の大人との愛着関係は、他の大人や子どもと豊かな関係を築いていくための土台となります。そのためにも保育者は一人一人と丁寧に向き合い、子どもの「今」の姿を受け止めることが大切です。1歳児の発達過程や事例をとおして、その子らしい育ちを支える保育について学びを深めます。

**【受講者の感想】***** 研修で学んだことを保育にどう活かしていきますか**

- ・1歳児の発達を3段階（1歳前半・1歳後半・おおむね2歳児）に分けて具体的に教えていただき、とてもわかりやすかった。今回の学びをクラスの職員と共有する。
- ・子どもの発達を「できる」「できない」で判断せず、一人一人の育ちの過程をみていく。
- ・やってみたい気持ちや「イヤ」という思いに共感し、ありのままの自分を出すことが心地良い経験となるよう、さり気ない援助や言葉がけ、気持ちの代弁などで、子どもの育ちを支える保育をしていきたい。
- ・「こだわり」を否定的にみるのではなく、肯定的に捉えていきたい。
- ・自己主張の弱い子のことが気になっていたので、具体的な援助の仕方を考え実践していきたい。
- ・子どもの姿を担当間で振り返りながら、子どもの興味関心に合わせて、定期的に環境を見直していこうと思う。
- ・かみつきの玩具の取り合いが起きた時は、双方の意見をきちんと聞き、それぞれの気持ちに共感していきたい。
- ・「保育に正解は1つだけではない」という内容に安心したと同時に、自分は一方的な見方しかしていなかったことに気付いた。もっと視野を広げて、柔軟な対応をしたいと思う。